

県内百貨店・主要小売店3月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	7.7		4.2
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	11.2	10.1	2.8
Vドラッグ	4.5	2.9	▲0.7
ホームセンターバロー	3.7	1.2	▲2.6
セリア	10.6	7.0	5.9
ヒマラヤ	▲2.1	▲4.6	▲9.2

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の3月上高実績（速報値、小売店は全店売上高）は、6社のうち5社が前年同月を上回った。3月は不安定な気候が続いて、影響が出た会社もあった。

7月末に閉店する岐阜高島屋は、バイヤーが厳選したアイテムをそろえた感謝祭の客入りが好調だった。

バローは強化を進める水産部門が好調だった。鮮魚を丸ごと並べる売り場が顧客に浸



百貨店小売店 5社が前年上回る
3月の売上高

透し、信頼にもつながっている。Vドラッグはカイロ、スキンケア用品など冬物が引き続き好調だった。スギ花粉の飛散時期が昨年よりも早く、関連商品は3月初旬にピークを迎えた。ホームセクターバローは例年よりも灯油やカイロといった冬物がよく動いた。顧客の節約志向を捉えた販売戦略も奏功した。

セリアは既存店が2カ月連続の2桁増。ハンドクラフトが引き続き好調で、大人向けの文具用品も販売が伸びた。

ヒマラヤは寒い日が続いた影響で、衣替えの需要をつかみきれなかった。